

# ～南海トラフ巨大地震を迎え撃つ～

## 【講演内容】

- ・南海トラフ巨大地震臨時情報発表時の対応行動
- ・事前復興について
- ・その他南海トラフ巨大地震に関することについて

## 【講師】

徳島大学特命教授（徳島県防災・減災復興アドバイザー）  
中野 晋 氏



【日時】令和4年10月28日（金）

受付：午後6時30分 講演：午後7時から午後8時30分まで

【場所】うずしお会館 第1会議室（鳴門市撫養町南浜字東浜165-10）

【費用】無料

【定員】50人

【申込】徳島県とくしまゼロ作戦課に事前にお電話で申し込みください。  
当日参加も可能です。

【問い合わせ先】徳島県とくしまゼロ作戦課 088-621-2699



■津波によって打ち上げられた船  
（昭和南海地震 旧海南町）

## ■昭和南海地震

昭和21年12月21日4時19分頃、潮岬の南50km位のところ（北緯32度56分、東経135度51分）深さ24kmを震源とするマグニチュード8.0の地震でした。徳島県内では、死者202人、全壊家屋602戸、津波による流失413戸など、大きな被害をもたらしました。

## ■日本最古の津波碑

1361年正平南海地震津波の  
供養碑「康暦碑」（美波町東由岐）



## ■康暦碑

美波町（東由岐）に、わが国最古の津波碑といわれる正平16年6月24日（1361.8.3）に発生した南海地震津波の供養碑「康暦碑」があります。

『太平記』にも「阿波の雪（由岐）の湊を襲った津波」として記されており、この碑は、20年後の康暦2年（1380年）に建立されたものです。